

《担当者名》村田 尋如(非)

【概要】

- 1 高等学校公民科教員としての資質・能力を涵養し、公民科教育の意義を理解する。
- 2 年間学習指導計画、授業デザインなどを踏まえた模擬授業や研究協議を通して、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けるとともに、思考力、判断力、表現力を伸ばす指導方法や思考ツールの活用、評価の方法等、公民科に必要な教科指導法について実践的に学ぶ。

【学修目標】

- 1 学習指導要領における公民科教育のあり方について学ぶ。
- 2 思考ツールの活用方法やアクティブ・ラーニング型授業の進め方など、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現するための手法やICTの活用等について理解を深める。
- 3 実践的な模擬授業の実施と振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けるとともに、公民科教育の授業観・世界観に触れ、志の高い公民科教員としての資質を高める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	公民科教育とは何か	公民科教育の歴史と学習指導要領の理解	村田
2	「公共」の理解	公共の内容の理解	村田
3	「倫理」の理解	倫理の内容の理解	村田
4	「政治・経済」の理解	政治・経済の内容の理解	村田
5	授業の仕組みの理解	学習指導案の意義と作成の仕方の理解	村田
6	授業の仕組みの理解	「課題解決学習」や「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業の手法等の理解	村田
7	教材研究・授業研究の進め方	教材研究の意味の理解	村田
8	教材研究・授業研究の進め方	教材研究の方法の理解	村田
9	教材研究・授業研究の進め方	授業設計に当たっての「授業研究」の重要性の理解と具体的研究方法の進め方の理解	村田
10	模擬授業の構造	模擬授業の意義と意味、その役割の理解	村田
11	授業設計の方法	模擬授業に向けての授業設計の考え方の理解	村田
12	授業設計の方法	「公共」「倫理」の授業方法、授業設計の考え方の理解	村田
13	授業設計の方法	「政治・経済」の授業方法、授業設計の考え方の理解	村田
14	授業の構造化	年間指導計画、単元の指導と評価の計画及び1単位時間の学習指導案の作成方法の理解	村田
15	授業の構造化	生徒の認識や思考、学力などの向上に向けた「課題解決学習」や「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業の手法等の理解	村田
16	授業の構造化	思考ツール(二次元表、座標軸、ウェブマッピングなど)の活用を元にした指導過程の理解	村田
17	授業の構造化	パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価等の理解	村田
18	授業の構造化	授業におけるICTの活用(教員側の活用の仕方)	村田
19	授業の構造化	授業におけるICTの活用(生徒側の活用の仕方)	村田
20	著作権等の理解	授業で使用する資料等にかかる著作権の理解	村田
21	模擬授業の実施	「政治・経済」の模擬授業(個別での授業)の実施・自己評価・相互評価・総括講評(模擬授業者Aさん)	村田
22	模擬授業の実施	「政治・経済」の模擬授業(個別での授業)の実施・自己評価・相互評価・総括講評(模擬授業者Bさん)	村田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
23	模擬授業の実施	「倫理」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評（模擬授業者Cさん）	村田
24	模擬授業の実施	「倫理」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評（模擬授業者Dさん）	村田
25	模擬授業の実施	「公共」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評（模擬授業者Eさん）	村田
26	模擬授業の実施	「公共」の模擬授業（個別での授業）の実施・自己評価・相互評価・総括講評（模擬授業者Fさん）	村田
27	模擬授業の振り返り	総括的講評による振り返りとルーブリック評価の理解	村田
28	教科横断的学習等の理解	法教育、シチズンシップ教育、消費者教育、環境教育（ESD教育）等との積極的連携の進め方の理解	村田
29	教科横断的学習等の理解	キャリア教育、道徳教育、総合的な学習の時間等との積極的連携の進め方の理解	村田
30	公民科教育の本旨とその意義	公民科教育の意味と異議、役割、高校教育における存在意義等の全体理解	村田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

指導案の作成と発表の評価 50%、模擬授業の評価 30%、レポート課題の評価 20%

【教科書】

「高等学校学習指導要領解説 公民編」（教育出版）

「私たちの公共」（清水書院）

「高等学校 新倫理」倫理703（清水書院）

「高等学校 政治・経済」政経704（清水書院）

「最新版 倫理資料集 ソフィエ」清水書院

「政治・経済資料集」清水書院

【学修の準備】

<前期>

- ・「高等学校学習指導要領」を事前に読む（2時間）
- ・教育問題を自分なりにとらえ、問題意識をもつ（教育情報の読み取り等に毎日30分）
- ・社会事象への眼を向け、自分の関心を引きだす（新聞等のメディア情報の読み取りに毎日1時間）
- ・模擬授業準備のために、関係科目を、教科書を中心に復習する（各科目15時間程度）
- ・教材研究ノート、板書ノート、授業プリント等を作成する（模擬授業1回につき20時間程度）
- ・板書の練習をする（3時間程度）

<後期>

- ・模擬授業に使用する指導内容、使用教材等の選定をする（2時間）
- ・模擬授業で活用する思考ツールや学習方法等の準備をする（模擬授業1回につき4時間程度）
- ・レポート作成のための参考図書や教材の準備をする（6時間）

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教科及び教科の指導法に関する科目」の「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」に該当する。

【実務経験】

高等学校公民科教員、教育委員会指導主事・管理職等

【実務経験を活かした教育内容】

- ・道内の高等学校での公民科教員としての実務経験を活かし、実践的公民科教育法の講義を行う。
- ・北海道教育委員会の指導主事、高校管理職等としての実務経験を通して得た知見・指導技術等を活かし実践的な教育を行う。